

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	TETAU事業協同組合			代表者名	森脇 碌
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	なし	連絡先電話番号	050-5536-9139
担当者役職	理事	担当者氏名	森脇碌	連絡先E-mail	
住所	〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田185-3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	和歌山県	連絡先部署	商工労働部労働政策課		
担当者氏名	上西紘平	連絡先電話番号	073-441-2790	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	働き方改革・テレワーカー養成研修&集いの場運営業務		
概要	県内で子育て・介護中、療養中、障害を持つ方など働きにくさを感じている人たちに対して、時間や場所にとらわれない自営型テレワーカーという働き方を普及させ、ICTを活用して誰もが自分らしく働き、活躍できる地域を作りたい。そこで、民間と自治体が連携して地域のみなさんを育成しながら、柔軟に働ける機会を創出していくための取組方法について助言をいただきたい。				
支援を求める分野	働き方 テレワーク				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	832	令和8年2月20日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月6日	支援・助言(実地)	9時00分	17時00分	90
				活動時間（分）	390
2-2. 派遣場所	会場名	ANCHOR		最寄駅	JR白浜駅
	所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町1313番地		最寄駅からの交通手段	送迎

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	上前 知洋
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	1回目、2回目の内容を踏まえ、丁寧に下準備をしていただいた。全国地域情報化推進協会の澤田様にもお繋ぎいただいたことで、全国の具体的な事例を知ることができた。当日の会議の進行もファシリテーションしていただき、自治体の立場からの視点で、白浜町や和歌山県の意見も引き出していただき、非常に活発な意見交換ができた。
アドバイザーへの要望事項	今後も継続的な支援と協力体制の構築をお願いしたいと考えています。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	12人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3		9	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自営型テレワーカー育成に向けて県の事業として8年間行い、400人以上に参加していただいた。毎回、定員を超える申し込みがあり、ニーズは多いが、自営型テレワーカーとして仕事ができているのは10%にとどまっている。自分で受注し、自律して進めていく、ということは多くの方にとって難しく、働きにくい人を働くことに繋げていくために何ができるのかを、官民が連携して考えていく必要を感じている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	立科町の「社会福祉型テレワーク」という中間支援法人が就労支援するという形を知り、それが和歌山県で実行することができるのか、またどのような形が適しているのか、などを県・基礎自治体・民間企業・ワーカーなどが参加し協議して、和歌山の形をガイドラインという形でアウトプットし、次年度以降のプランを作成すること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①民間としてどのような活動を行なっていけば良いかの議論を行なった。特に自治体と協業するための項目について重点的にアドバイスをいただいた。自治体の切り出し可能な業務についてや、和歌山県の委託事業として行っている「家ではたらくカレッジ」について大日本印刷との共同事業として行えないかを今後検討していくことになった。②和歌山県・白浜町・一般社団法人白浜イノベーションハブ・南紀白浜エアポートなど地域の方々に、社会保険労務士の先生も交えて、官民が連携していくには、という課題について協議。ファシリテーションで、活発な意見を引き出していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	民間としてどのように自治体に対しどうアクションしていけば良いかが整理された。具体的なアクションプランの仮説まで立てることができた。官民の連携について、明確になっていなかったゴールが明確になった。今後の共同提案をいただき、先につながるアクションプランが策定できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 具体的な成果物はないものの、アクションプランの案を作成することができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	自治体とどのように連携していくのか(例えば職員向けのセミナーなど)の具体的なアクションを定められなかった。どのような方々に支援を提供するのかの範囲について再度検討する必要が出てきた。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者全員から意見をその場でいただいたので、アンケートは行わなかった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する アクションプランをさらに具体的にし、実験的にアクションを行う。①行政職員向けのセミナーに向けてガイドブックや資料作成を行う②興味のある基礎自治体に対し提案するプランを策定する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	和歌山県、基礎自治体、民間企業がそれぞれの役割を明確になっている状態で、来年度以降の計画・予算案を策定し、次年度のアクションが明確になっている状態を目指したい。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

